

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社タクマ播磨工場 CP工場	階数	地上2F
建設地	兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし(法22条指定区)	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2021年1月28日
敷地面積	137,995 m ²	作成者	株式会社大建設計
建築面積	4,423 m ²	確認日	
延床面積	4,423 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
新工場は、高品質なモノづくりの方針を継承した上で、設備構成や配置・動線を抜本的に見直し、生産性と品質を更に高めるとともに、働く人や周辺環境にやさしいサステナブルな工場となるよう計画します。	80年以上の歴史がある播磨工場の建替計画で、既存の緑地や建物の色彩を継承しながらも最先端の生産工場となるよう外観計画や内装計画に配慮した計画とした。	
Q1 室内環境 CP工場は山陽電鉄沿いに位置するため、開口部の遮音性能を確保し、執務環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 内外装ともに耐久性の高い素材を使用することで、メンテナンス性を向上を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 豊かな外構緑地を設け、十分な緑視率を確保し、緑の景を発信できるよう配慮した。
LR1 エネルギー ハイサイドライトを用いることで、自然光を積極的に取り込む明るい工場とした。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材料を使用することで、環境資源に配慮した計画とする。	LR3 敷地外環境 開口部を極力減らし省エネ性能の向上を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される